学校番号	１２０３

令和３年度　情報科

教科	情報科	科目	情報の表現と管理	単位数	２単位	年次	２、３年次
使用教科書	「情報の表現と管理」　（実教出版）						
副教材等	プリント類を使用						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 「社会と情報」で習得した基礎力を発展させ、自己の表現したいことや訴えたいことを、他者に的確かつ多彩な表現力で伝えられるよう指導する。
- 文書・図・音・画像・動画など様々な形式の情報を扱うための基礎的な知識と技術を実習形式の授業を通じて指導する。
- 実習課題の提出あり。授業に毎回出席して課題を完成させることが重要。

２　学習の到達目標

情報の表現と管理に関する基礎的な知識と技術を習得させ､情報を目的に応じて適切に表現するとともに、管理し活用する能力を育てる。

１．文書・図解・音声・画像・動画の５種類のメディアのそれぞれの特色と活用法を習得する。

２．様々な種類の情報を編集・工夫することで、効果的に問題解決をするための実践力を養う。

３．他者と協力しながら問題解決を行う主体的な態度の育成を図る。

４．情報社会で必要とされる情報を管理し活用する能力と態度の育成を図る。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱを活用して問題解決しようと主体的に取り組み態度 ・コンピュータを用いて情報を効果的に活用し、責任を持って管理する態度。	・問題解決に向けて、どのメディアを用いてどのように表現すればよいか判断できるか。 ・情報社会において情報の活用・管理する上で、どんな問題点があるか推測し考える力がある。	・ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱを活用するための基礎・基本的な技能を身につけている。 ・それぞれの情報編集に必要なソフトウェアを目的に応じて使うことができる。	・ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱを適切に活用するための知識を身につけている。 ・ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱを活用して、問題解決をするための方法や適切に管理する方法を理解している。
評価方法	授業態度（出席率） プリント課題や実習課題の提出状況 アンケートのふりかえりの記述など自己評価	プリント課題 実習課題や作品 プレゼン発表 相互評価・自己評価	授業態度 プリント課題 実習課題や作品 実技テスト プレゼン発表	プリント課題 実習課題や作品 小テストや定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	文書による表現	・文書の基本的な構成や書式を理解する。 ・情報から5W1H など情報伝達のポイントを理解した上で、わかりやすい情報伝達の文書を作成する。 ・ワープロソフトを利用して，ワープロ検定3級レベルのビジネス文書を作成する。	 ○	 ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:課題に積極的に取り組む。 b:目的に応じたわかりやすい情報伝の工夫や表現ができる。 c:ワープロソフトを活用してビジネス文書等の書類を作成できる。 d:文書の種類・構成を理解しており、特にビジネス文書の各要素の配置を理解している。実習で使用する表計算ソフトの基本知識がある。	授業観察 プリント課題 課題ファイル 実技試験
	表・グラフによる表現	・表やグラフ等の図解表現の種類とその特性，活用場面を理解する。 ・表計算ソフトを利用して，さまざまな表やグラフを作成する。 ・文書の情報を図解化することでわかりやすい表現に編集する。	 ○	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a: 課題に積極的に取り組む。 b:目的に応じた表やグラフの種類を判断することができる。 c:表計算ソフトを使って表やグラフを作成することができる。 d:表やグラフ等の図解表現の種類とその特性，活用場面を理解している。実習で使用する表計算ソフトの基本知識がある。	授業観察 プリント 課題ファイル 実技試験
	画像による表現	・ディジタル画像の種類と特性を理解する。 ・ドロ系ーソフトを利用してピクトグラムを作成する。 ・ペイント系ソフト(フォトレタッチソフト)を利用して画像合成等の画像編集を行う。 ・目的なあった画像作品を作成し、完成作品を相互に評価する。	 ○	○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 課題に積極的に取り組む b: ドローソフトとペイントソフトの特性の違いを理解し目的によって使い分けることができる。目的に適した画像のデザインができる。 c: ドローソフト及びペイントソフトを活用できる。画像合成ができる。 d: 図形描画ソフトの種類及び画像形式の種類と特徴を理解できる。画像編集に利用するソフトの基本知識がある。	授業観察 プリント 課題ファイル 作品
	情報の管理	・情報セキュリティの必要性ついて理解する。 ・個人情報など情報セキュリティに関連する法規の理解を深める。 ・情報を守るための技術について理解する。 ・パスワード設定など情報管理のための機能を活用する。	 ○ ○	○ 	 ○ 	○ ○ ○ ○	a: 課題に積極的に取り組む b:情報管理がされていない場合のデメリットや危険性を推測することができる。 c:適切なパスワードを設定することができる。 d:情報管理に関するルールや法規について理解している。	授業観察 プリント 考査

後期	音による表現	・音声および音楽データの特性を理解する。 ・音のディジタル化のプロセスを理解する。 ・音の波形編集ソフトを利用し音声データを編集する。		○	○	○ ○	a: 課題に積極的に取り組む。 b: 伝えたい情報を音声に適したストーリーで表現できる。 c:音の波形編集ソフトを活用して音編集作業ができる。 d:音編集ソフトの基本知識がある。	授業観察 プリント 課題ファイル
	動画による表現	・動画のしくみと動画ファイルの種類と特性を理解する。 ・動画ソフトを活用して動画を作成する ・目的にあった動画を作成する。 ・作品を発表し，自己・相互に評価する。	○ ○	○ ○ ○	○	○ ○	a: 課題に積極的に取り組む b:伝えたい情報を動画に適したストーリーで表現できる。 c:動画ソフトを活用して動画編集ができる。 d:動画編集ソフトの基本知識がある。	授業観察 プリント 課題ファイル 作品
	ネットを利用した情報発信	・WWW の特性を理解する。 ・HTML のしくみ及びタグのそれぞれの役割を理解している。 HTML を用いてWebページを作成する。		○	○	○	a: 課題に積極的に取り組む b:どの場合にどのタグを使えばよいか判断できる。 c:HTML で Web ページの作成できる。 d:WWW のしくみと特性を理解している。また HTML の基本的な知識がある。	プリント 課題ファイル
	プレゼンテーション	・プレゼンテーションの意義と活用例を理解する。 ・プレゼンテーションソフトを利用して視聴覚資料の作成を行う。 ・表現力を高めるために，図解の利用やアニメーションの設定など工夫を行う。 ・話し方，態度，発問や応答等プレゼンテーションのポイントを理解する。 ・プレゼンテーションを発表し，自己・相互に評価する。	○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:積極的に発表準備に取り組む。 b:わかりやすい発表のための工夫が発表や視覚資料に見られる。 c:プレゼンテーションソフトを活用して視覚資料を作成できる。 d:プレゼンテーションソフトの基本的な知識がある。わかりやすい発表をするためのポイントを理解している。	課題ファイル プレゼンテーション 自己・相互評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解